

経営コンサルティング事業 (中国)

船井(上海)商務信息咨询有限公司

上海から未来をプロデュース

船井総研の企業成長のための経営ノウハウは日本以外でも通用するとの確信のもと、外食業界を皮切りに、中国企業を対象に経営研究会を軸としたコンサルティングを展開しています

戦略

- ・外食業界向け経営研究会の質的、量的拡充
- ・研究会会員からの個別コンサルティング契約拡大
- ・外食業界向けパッケージ支援商品の開発およびセミナーの積極開催による受注機会の創出
- ・外食業界に次ぐ新業種の立ち上げ



事業の特徴と強み

2016年より開始した外食業界向け経営研究会も4年目を迎えました。中国全体のGDPはすでに日本のGDPの2.4倍になり、外食市場規模も2.5倍に成長しています。中国の外食業界は現在でも二桁成長ペースで、中国全体のGDPの成長率を上回っています。一方で、主要都市ではライフサイクルがすでに成熟期を迎え、競争環境がより一層高まっています。そのような市場環境を背景に、外食業界向けのコンサルティング市場は拡大しています。

今後の取り組み

●2018年度の概況

外食業界向けコンサルティングに関しては、会員基盤の拡大に注力し、2017年12月末時点では200名規模であった会員基盤が2018年12月末には270名規模まで拡大しました。会員企業からの個別コンサルティング契約拡大のために、会員企業向けのテーマ別セミナーを継続して開催しています。特に、多店舗展開を目指す外食チェーンに不可欠なQSC(クオリティ、サービス、クリンネス)改善のテーマや、中国のビッグデータを活用した船井上海独自のマーケティング関連の新しい支援商品を開発し、好評を得ました。増加する個別コンサルティング案件に対応するために、新人コンサルタントの採用育成も積極的に行い、上海での現地採用に加えて、日本での中国人留学生採用も進めています。

当社は、隔月に開催する経営研究会をメインプラットフォームとしながら、さらに会員企業と個別に契約を結び、成長支援を目的としたコンサルティングを展開しています。現在は中国を代表する多くの有名外食チェーンも当社の会員企業となるなど、経営研究会を含む船井上海のコンサルティングブランドが中国市場でも着実に浸透し始めています。

●2019年度の取り組み

2018年までは外食業界の総合型経営研究会として隔月開催していましたが、2019年はより専門性を追求した成長支援を実現するために、「中華・総合」「焼肉・火鍋」「ファストフード」の研究会に分割し、研究会の質的、量的拡充を図っていきます。さらに、専門性を高めることで会員企業からの個別コンサルティング契約を獲得しやすい環境を確立します。また、受注型セミナーを毎月開催し、個別コンサルティングの契約拡大を目指します。これまでのコンサルティング契約は、プロジェクト型コンサルティングが中心でしたが、より収益性の高い月次支援契約のウエイトを高めてまいります。同時に、外食業界に次ぐ新たな業種向けコンサルティングの立ち上げ準備を、日本の船井総研と連携しながら行ってまいります。

会社概要

董事長：岡 聡
 総経理：中野 好純
 設立：2012年1月13日
 出資金：50百万円

本社

上海市長寧区江蘇路369号兆豐世貿大廈18H
 TEL:+86 (21) 5240-1398 (代表)
 FAX:+86 (21) 6091-7867 (代表)